

2024 第 123RUTC 答えの永遠 - 日本レムナント大会

主題: 世界化を組織しなさい(使 11:19-30)

日時/場所 2024 年 3 月 28、29 日、市原 Civic Hall

説教 柳光洙牧師(録音整理: チャ・ドンホ牧師)

1 講: やぐらを建てなさい (使 1:1、3、8)

使徒の働き 1:1、3、8

[1] テオフィロ様。私は前の書で、イエスが行い始め、また教え始められたすべてのことについて書き記しました。

[3] イエスは苦しみを受けた後、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。四十日にわたって彼らに現れ、神の国のことを語られた。

[8] しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。

24.3.28 日本RT大会-1

- 世界化を組織しなさい - (使1:1, 3, 8)

3 集中 3 答え 3 セッティング

7 やぐら 神の国 答え(5力)

1 講「やぐらを建てなさい」

刻印

運命

RT 7

序 - やぐらを変えなさい 本 - 0 のやぐら
(II コリ10:4-5)

1. イスラエル
(創37:1-11)
2. 日本 - 韓国
3. 家系 - 個人

1. 24 やぐら

今日のやぐら

- 1) WITH
- 2) Immanuel
- 3) Oneness

2. 異なるやぐら

- 1) Trinity
- 2) Throne
- 3) 3 Ages
- 4) 5 Powers
- 5) エペ2:2
- 6) Pre
- 7) 3 庭

3. 未来のやぐら

CVDIP

- 1) 見る, 持つ,
味わう, 征服, 成就
- 2) 幸せ, 力,
平安, 安息, 5力
- 3) 確認

結

見張り人

1. プラットフォーム
2. 見張り台
3. アンテナ

* 序論

▲今回は日本レムナント大会、初めて世界核心集会在ここで開かれるようになります。日本に与えられた使命ですが、「世界化を組織しなさい」なぜならば、世界福音化すべきだから。これが今年の主題です。「可能なのでしょうか」ひとまず、アンティオキア教会がしました。それなら、日本は世界福音化できる組織を作る必要があります。すでに皆さんは今メッセージを続けて聞いているので、答えが何か知っているでしょう。

①3 集中(7 やぐら)

▲ところで、ひとまず実際、私がしていることを話してみます。私はこの三つのことを常にしています。レムナントはしてください。短い時間でしてもかまいません。また、私たちの大人は、当然、始めなければなりません。三つの集中です。レムナントは目を覚ませば5分でも祈りなさい。私に神様のやぐらが建てられますようにと、また、寝るときに5分だけしてみなさい。心より、どうせ寝なければならないので、寝る前に、起き。何をでしょうか、7 やぐら、これを続けて祈るのです。私の場合は、目をぱっと覚ましたら始めます。ここに来るときまで、すると今日明け方5時に起きたのですが、今まで、ほとんど5時間

しました。レムナントは5分だけすれば良いのでしょうか。すると、とても大きな世界福音化の門が開かれます。何が臨むかというと、神の国、これが臨むのです。クリスチャンは、ほとんどでたらめに知っているのですが、祈りの答えが、これで来ます。残りのことは、ついて来ることです。そうでしょう。残りのことは問題として来ることもあり、迫害として来ることもあって、幸せで来ることも、それはついてくることですが、本当の答えはこれです。必ずしてください。レムナントがこれをしていれば、行ってみれば答えが来ています。確認すれば良いのです。分かるでしょうか。ヨセフがこの祈りをいつもしていたのです。

②3 答え(神の国) - ところで、答えがどのように来たのでしょうか。これが答えです。ところで、行ってみたら、奴隷として来ています。それが答えの後に来ることです。そうでしょう。私たちはこの答えを分からなければ、「いや、私が神様を信じるのに、なぜ奴隷になったのだろうか。なぜ監獄に来たのだろうか」こうなることもあります。すでに、この答えを持っているのです。夜にも、これが終われば、続けてメッセージを準備して、これを祈ります。昼には無条件に確認です。答えの確認。今、私がここに来たでしょう。最高の祝福です。特に、日本に来たでしょう。最高の祝福であるここに来たのではないのでしょうか。してください。始めなければなりません。

③3 セッティング(答え/5 力) - 牧師は必ずすべきです。ますますこの力を受けなければなりません。ますます5 力が生まれなければならないのです。モーセ、ヨセフ、皆、ますます力がありました。しなければなりません、この3 集中。単に朝/昼/夜、必ずしなければなりません。すると、安らかでしょう。今ここでもしていれば良いのです。それゆえ、レムナントは必ず記憶する必要があります。どのように集中するかが重要です。そうでしょう。ある人は黙想して、また、ある人は散歩して、ある人は賛美して、ある人はみことばを暗唱して、このようにします。また、ある人は運動して、ある人は特別な場所を通して、してくださいということです。これが答えです。

▲いつも皆さんが知っているでしょうが、私の場合は、安らかな深い呼吸で祈りを続けます。二つが大きい生命線なので、朝に目を覚ませば、ゆっくりこの祈りを始めます。この祈りが伝えられるように、続けて、呼吸で吸うときは、これが私に臨むように祈ります。息を吐き出すときは、これが皆さんに、今日の集会に伝えられるようにします。ものすごい力が生まれます。残りは終わりです。神の国が臨めば、すでに答えは来ているのです。必ずしなければなりません。3つの答えです。これは現場に行って味わうのです。問題を見た時もうやく答えを見つけます。大きな問題が来れば、大きな答えを見つけるようになります。最近、もうタラップを離れる人々が、簡単に話せば、悪いことする人々を切りました。また、おかしい話をしますが、これを見てください。すべての危機は機会です。これだけするのです。そのように見れば、祈りの中で続けてセッティングが出て来ます。答えが続けて編集されます。それが続けて設計、デザインにされます。これが祈りです。牧師は、高齢なほど、皆さんは時間が難しくなるので、力を受けなければなりません。今もしているべきです。これが日本福音化と世界福音化する皆さんが最初にしなければならない道です。

▲2024 日本レムナント大会 1 講:「やぐらを建てなさい!」

そうすると、このような主題が出て来ます。1 講のタイトルが出て来ます。「やぐらを建てなさい」これが今日の最初です。この祈りを持って、やぐらを建てなさい。このやぐらは、どんなやぐらでしょうか。私のたましいの中に、刻印されることです。このやぐらです。神様のやぐらが刻印されてしまえば、運命が変わります。答えが出たのです。今から必ず皆さんがこれが刻印されれば、答えが来るようになっていきます。

▲この部分が1講の全体です。レムナントは、まだ幼いからよく分からないでしょうが、大人は分かるでしょう。神様のやぐらが刻印されてしまえば、教会は生かされるようになるのです。少し極端に言うと、じっとしてください。神様のやぐらがレムナントに建てられれば、世界福音化は来るようになっていきます。その証拠がレムナント7人です。心配することはありません。皆さんを通して、世界福音化の門が開かれるようになっていきます。これが今回の日本レムナント大会で最初に握るべき内容です。これがうまくできなくて、いくら努力しても、日本は生かせません。考えてみてください。キリストが与えられたやぐらが私の中に刻印されてしまった。私の中に祈りで神様のやぐらが建てられた。自然に成り立つようになります。私のからだを治してください、治されるようになっていきます。本当です。

▲私はこの契約を悟って、今から37年前です。ちょうどそのとき、私の年が37歳でした。すると、私が今、何歳になるでしょうか。37年前に37歳でした。ヨンドに入ったとき、そのときから、私は37年間、呼吸祈りだけしました。具合が悪い所はありません。何かの病気があって薬を飲む、ありません。全くありません。私は牧師たちと世界福音化する方が、これからさらに健康であることを確信します。モーセ、病気になって死んだではありません。120歳まで、神様が召されるときまで、目もかすむことなく、力がありました。レムナントは、他の人より数百倍の力がなければなりません。ものすごいのです。ここに答えを出したのです。この答えが出たのに、他のこと、それは未信者もすること、何の意味がありません。世界福音化が可能なのでしょうか。可能です。「本当に日本が世界福音化できるのでしょうか」することができます。私は残りの生涯に、皆さんとともに、牧師たちとともにするでしょう。課題を私が作る必要もありません。237-5千種族、神様が門を開いてくださっています。聖書で逃してしまった三つの庭、皆さんだけが使っているでしょう、全世界のキリスト教は使っていません。分からないからです。ところで、イエス様はそのために怒られました。全世界の宗教はすることはできません。40日間、イエス様が教えられたのです。イエス様が教えられたことをすべきです、これは事実、終わったのです。

▲これから日本のレムナントが味わうべき最初の答え、日本で宣教師が新しく始めるべき答え、世界福音化しなければならない日本の領土にいる私たちの重職者の方が回復すべき力、神様のやぐらを建てなさい。そうでなければ、世界福音化は不可能です。そうでなければ、他の問題が生じます。全世界で最も発展している二つの国アメリカ、日本、霊的問題が一番多いのです。私はいつも感じます。アメリカへ行くたびに、大きい国だな、日本に来るたびに、多くのことが準備された国だ、来るたびに感じます。どんな国に行っても「あ、すごい！」このように感じた国はありません。二か所しかないのです。アメリカと日本。ところで霊的問題が一番多いのです。

▲序論 - やぐらを変えなさい(Ⅱコリ 10:1-5)

皆さんが変えなければなりません。レムナントが。一つ目、やぐらを変えなさい。間違ったやぐらを変えなければなりません。そうでしょう。どんなやぐらを変えなさいということでしょうか。Ⅱコリ 10:1-5、サタンが作っておいたやぐらを崩しなさい。わかったのです。私の中にある病気になるようにさせるやぐらをなくしなさい。これを持ってなくすことができます。レムナントは今から始めなさい。何をでしょうか。

1) イスラエル(創 37:1-11)

▲では、多くの話をするには大変なので、一番最初のヨセフを持って話してみます。イスラエルの人々は、間違った考えをしていました。そうでしょう。私たちは選民だ。違います。世界福音化しなければならない。ヨセフがこれを抱いたのです。兄たちは違いました。やぐらを変えてしまわなければなりません。たくさん

あります。道は一つです。それを変えたのですが、働きが起こりました。そうでしょう。皆さんが間違っただけを変えてしまったら、神様の働きが起こります。

2) 日本、韓国

▲これから日本、韓国、長所がたくさんありますが、短所もあるでしょう。日本の霊的な問題のやぐらを変えてしまいなさい。祈らなければなりません。

3) 家系 - 個人

▲家系と私の個人にある暗闇のやぐらを打ち倒しなさい。Ⅱコリ 10:1-5 に神様のみことばによって打ち倒すことができます。

▲本論：神様のやぐら

では、今から、すると答えは出ました。祈り、今からなんでしょう。神様のやぐらを建てなさい。間違っただけを変えてしまいなさい。三つです。一つ目。①24 やぐらです。主がヨセフとともにおられるので、ヨセフは奴隷に行きながらも、何を持って行ったのでしょうか。この力を持って行きました。必ずお願いします。この力を持って勉強してください。24 やぐら。勉強を苦労せずに、今している勉強は、後には使われません。基礎だからすべきです。最も初めの答えは、これを持って勉強しなさい。してみてください。牧師にお願いします。このやぐらの力の中で牧会してください。必ず働きが起こります。二つ目です。神様の②異なるやぐらがあります。すると、自然に世界福音化になります。三つ目です。③未来のやぐらを建てなさい。そうすれば良いのです。この祈りの中に、これが入っています。不思議でしょう。日本だけでなく、全世界、私たちの伝道運動する教会に、神様の答えが、世界福音化が来るようになるでしょう。最近、全国、世界で訓練に弟子がさらに多く集まります。最近、弟子がさらに多く来ています。感謝なことでしょう。これから日本レムナントが起きれば、世界は変わります。

1. 24 やぐら - 「今日のやぐら」

▲24 のやぐらはなんでしょう。今日のやぐらです。今、今も、このことは確かに成り立っています。今も神の国、成り立っています。これを祈らなければなりません。残りの答えはついて来るのです。

1) WITH

2) Immanuel

3) Oneness

▲このとき、来るようになります。W/I/O です。この 24 やぐらを建てなさい。すると、皆さんのすべてのことの中で、これが最も簡単なことです。皆さんは単に起きて、忙しく今ここに来ましたが、また、これが終われば、勉強して、職場に行かなければならない、このようになるでしょう。そうしておいて、どうするのでしょうか。毎日、この力が起こる必要があります。24 時これで勉強しなさい。難しくありません。ひとまず、何の関係もありません。これで勉強しなさい。すると、この答えが出て来ます。神様はヨセフとともにおられ、レムナントとともにおられました。後ほど王の前に立ったでしょう。あなたが夢の解き明かしを上手にするのか、尋ねられたときに、できないと言いました。とても重要なことを話しました。この三つのことを話したのです。神様が王様の夢を教えてください。神様が私とともにおられるので、その夢を分かせてくださるはず。神様が全世界を生かそうと、神様が分かせてくださるはず、常にこの三つです。

2. 異なるやぐら

▲では、本格的に、もうこのときから異なるやぐらが建てられます。何でしょうか。

1) Trinity

▲三位一体の神様が目に見えないように、私のたましい、心、考え、すべてのことの中に臨むようになるのです。これが今日、日本集会に働かれたのです。この祈りを言います。続けてするのです。

2) Throne

▲神様が今、この時間に御座の力で私の中に臨んで、ここに働かれるのです。では、このやぐらを続けて作るのです。続けて起こります。ある日見ると、日本の各教会に弟子がたくさん集まり始めます。それは、もうその後に来ることです。ある日、レムナントに答えが来るのです。理由が为什么呢。世界のわざわいを止めなければならないと、日本のわざわいを止めなければならないと、これでなければ、止めることはできません。

3) 3Ages

▲このとき、为什么呢。私の過去/現在/未来がすべて神様の働きです。3時代です。

4) 5Powers

▲いよいよ、神様が私に5力を与えてくださるようになります。霊力/知力/体力/経済力/人材力で働かれます。これがやぐらです。この祈りを継続してください。私は目を覚ませば、朝に続けてします。今、この時間に、もうみことばが整理されるのです。夜になれば、完全にこのセッティングが始まります。どれくらい良いかわかりません。力も生まれ、答えも来ます。これだけすれば、事実、言うまでもなくて、来るので、レムナントはしてください。いや、単に聞くのではなく、考えなければなりません。世界を福音化するキリストが与えられた契約で、私のやぐらを建ててなのです。

5) エペ 2:2

▲そうすれば、いよいよ空中の権威を持つ支配者に勝つ力が私に与えられます。エペ 2:2 です。

6) Pre- view

▲さらに重要なこと、CVDIP の答えがあらかじめ見えるのです。あらかじめ見なければなりません。これが重要です。この祈りをしていれば、答えがあらかじめ来るのです。

7) 三つの庭

▲それゆえ、私たちは三つの庭を作ります。このように...

▲このやぐらです。この答えを続けて受けるのです。日本の人々は必ず分かる必要があります。なぜでしょうか。世界福音化が可能なので。私が知る限り、器が準備された国は何か国しかありません。アメリカ、ヨーロッパは器が準備されているのですが、福音がありません。日本、韓国は準備されています。逃してはなりません。多くの多民族は準備ができていないので、レムナントを立てるしかありません。日本に世界のレムナントを呼んで、韓国に世界レムナントを呼んで、彼らを訓練させなさい。単なる訓練ではありません。やぐらを建ててしまいなさい。

3. 未来のやぐら- 「CVDIP」

▲それは、为什么呢。未来のやぐらは、結局、これでしょう。これを見なければなりません。何をでしょうか。

1) 見ること/持つこと/味わう/征服/成就

▲未来のやぐらは、あらかじめ見たことです。そうでしょう。この Vision は、あらかじめ持ったことです。これがレムナントです。Dream は、あらかじめ味わっています。Image は何でしょうか。あらかじめ征服することです。いや、行かなかったのに、皆さんが世界をすでに征服したのです。もう成就しに行きます。必ず覚える必要があります。

2) 幸せ/力/平安/安息/5 力

▲「いや、それはあまりに荷が重くないでしょうか」24 幸せ。この祈りは他の祈りと違います。24 力。祈りは異なるようにする修行ではないのです。苦行ではありません。24 力、24 幸せ、これが祈りです。祈りを正しく悟らなければなりません。私たちが祈りでもしましょう、それは祈りではありません。レムナントは覚える必要があります。未来を心配する必要がなく、まことの祈りは何でしょうか。24 平安です。平安なのです。24 安息、今、この時間も 24、5 力が臨むのが祈りです。このやぐらを作りなさい。

3) 確認

▲残りは確認すれば良いのです。これから、レムナントが行く道に、奴隷として行くようになり、監獄に行くと思ったが、総理になります。レムナント 7 人、ダビデが行く道に答えが準備されています。この三つのことを見るのです。今日、ここに来た方々、祈りの奥義の一番最初を持って行ってください。これが最初です。二つ目は午後に見ます。

* 結論：「見張り人」

▲すると、どんな結論が出て来るでしょうか。皆さんは見張り人になります。なぜでしょうか。やぐらを作ったから、見張り人になるのです。見張り人なので、結局は...

1) プラットフォーム - 皆さんがこの祈りをしていれば、他の人を生かすしかないプラットフォームが作られます。

2) 見張り台 - 他の人を癒すしかない見張り台ができます。

3) アンテナ - 世界と神様と疎通できるしかないアンテナが立ちます。

▲単に、この祈りをするのです。今回の 3 つは逃してはなりません。今この祈りに入る必要があります。すると、現場、世界の教会、皆さんの聖日をみな生かします。今回、全世界に現れたメッセージの中で、日本レムナント大会に最高のメッセージが、最初のメッセージです。3 集中、今もしていなければなりません。2 講の時は何をすべきか。また、3 講の時は、何を握るべきなのか。この 3 つを握れば良いのです。レムナントは外に出て行けば、問題が起こったことを見ることもあります。そのときに祈れば良いのですが、それではなく、この勝つ力を持って出て行くのです。皆さんに、問題が来たとき、困難が来るとき、祈らなければなりません。そのようなレムナントになってはなりません。すでに、神様のやぐらを持って、問題を訪ねて行きなさい。違うのです。神様のやぐらを持ってゴリヤテの前に行ったのです。そうでしょう。それが重要です。信じなければなりません。神様が与えてくださったのです。

▲では、そうすれば、毎日のように答えが来ます。私の考えをいつもすることができません。なぜでしょうか。神様の答えが見えるので。私の主張も必要ないのです。なぜでしょうか。神様の働きが見えるので。神様の答えが全くないときは、執拗に私の主張をするしかありません。そうでしょう。私は答えもなく、神様の答えもない、執拗に私の考えをしなければなりません。しかし、日本の地に、皆さんの教会に、皆さんの個人に、神様の働きが起こるならば、あえて私の主張は必要ありません。これだけが必要なのです。見張

り人です。必ず覚える必要があります。このやぐらを持って勉強しに行きなさい。このやぐらを持って事業しに行きなさい。このやぐらを持って、問題と病気と危機にあいに行きなさい。分かるでしょう。

▲これが、全世界を生かすレムナントに与える最高のメッセージが宣言されたのです。神様のやぐらを建てなさい。祈りによって。祈ります。

(祈り)

神様に感謝いたします。神様が日本を祝福されたことを感謝いたします。日本レムナントを生かす神様に感謝いたします。世界を生かすことができる正確な契約を握りますように。キリストが与えられたことを握りますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(The end)

2 講:神様の旅程- 「だまされてはならない」

24.3.28 日本RT大会-2

御座のやぐら

2講 神様の旅程

霊的サミット

「だまされてはならない」

1. 終わりを知って行く RT

- 1) 創37:1-11
- 2) 出2:1-10
- 3) Iサム3:1-19
- 4) Iサム16:1-13
- 5) II列2:9-11
- 6) ダニ1:9-10
- 7) 使1:8

わざわい

1. 奴隷, 監獄, 総理

2. 養子
3. 孤児
4. 苦難
5. 捕虜
6. 属国
7. 流浪の民



2. 道

- 1) 三位一体
神様
- 2) 10 土台
- 3) 10 奥義
- 4) 確信
- 5) 流れ
- 6) 一生
- 7) キャンプ

3. 内容

- 1) 読書 - みことば
- 2) 義人 - キリスト
- 3) 祭り - 三つの祭り
- 4) 礼拝 - 祈り
- 5) ただ - タラント
- 6) 唯一性 - 専門性
- 7) 再創造 - 世界化

結

1. 残りの者
残る者
残れる者
残す者
2. 巡礼者
受容
超越
3. 征服者

* 序論:2024 日本レムナント大会 2 講:神様の旅程 - 「だまされてはならない」

▲私たちの1 講は神様の「御座のやぐら」が建ったことです。これを持って行くので、レムナント7人は恐れませんでした。この力をいつも味わっていれば、皆さんは、どんな場合も大丈夫です。

▲では、いまから2 講です。もう皆さんは神様が作られた旅程に行くのです。ここで一番重要なことが一つあります。皆さんは、だまされてはなりません。この旅程に行くのに、だまされてはならないのです。皆さんは最初に、だれにだまされるのでしょうか。私自身にだまされます。私はよく勉強もできないし、また、私は上手にできることがないけれど、私は家もとても難しいのに、このように考えます。私もそのように考えました。

「私は幼いとき、なぜ私の家だけ、このように貧しいのだろうか」こう思ったのです。私は別によくできることはない、このような考えを続けてしていました。だまされずに、神様が皆さんを呼ばれたのです。また、しばしば人々は正しいことを話しますが、皆さんがそこにだまされるようになるのです。いや、親は正しい話をするでしょう。しばしば、そこにだまされるようになります。神様が皆さんに備えておかれたことは、ものすごいことです。親は分かりません。さらに、教会に行ってもだまされます。私たちのレムナントに向けた神様の計画は簡単なことではありません。

1) 奴隷/監獄/総理

▲奴隷として行くようになりました。だまされてはなりません。このヨセフは、だまされなかったのです。監獄に行きました。皆さん、そうすれば、どうなるでしょうか。皆さんならば、気絶するでしょう。何のあやまちもないのに、神様が生きておられるならば、なぜ私は何のあやまちもないのに監獄に送られるのでしょうか。はじめから、私は、私の家はなぜこうなのでしょう。後ほど総理になりました。ヨセフは、その時もだまされないで、この時もだまされませんでした。私たち親が気を付けなければならないのは、このレムナントが受けるべき祝福は、私たちの過去とは違います。大学では、また、学校では、やむを得ず勉強ができなければならないように言いますが、神様の計画は分かりません。私が今、歴史的な証拠を話しています。

2) 養子

▲モーセは養子に行ったでしょう。

3) 孤児

▲皆さんがご存じのように、サムエル、ダビデは、ほとんど孤児状態です。

4) 苦難

▲どれくらいダビデは苦難をたくさん受けたのでしょうか。長い時間、続けて苦難にあいました。だまされてはなりません。結局は、サタンが皆さんをだまそうとするのです。レムナントは、だまされなければ良いのです。すべて皆さんをだまします。こうしなければならない、ああしなければならない、あなたはだめで、だまされてはなりません。

5) 捕虜

▲さらには、捕虜になって行きました。だまされてはなりません。

6) 属国

▲レムナントを通して必ず世界福音化が起こり、後には属国になりました。

7) 流浪の民

▲さらに驚くことは、流浪の民になって全世界に散らされたのですが、その中で福音を持っているレムナントを通して世界福音化が起こったのです。

▲一つだけ分かれば良いのです。だまされてはなりません。サタンのメインの特技、だますことです。正しいことばを言ってだますのです。間違ったことを話して、だますのです。とにかく、皆さんを、どんな祝福を受けたかを分からなくさせます。私は何もできなくて、勉強もできなくて、私は良くできることがなくて、あなたはだめだ、それがサタンの声です。神様は、レムナントとともにいると言われました。私が証人です。私は家庭、背景、とても難しかったのです。ただ一つ、初めにだまされました。答えが来ないのです。ある日、私が、「私が何のために人の話を聞いて、神様のみことばを聞かないのか。私は神の子どもで、最高の祝福を受けたのに、なぜ私は信じないのか」だれかが教えたのでなく、ところで福音を悟って働きが起こりました。ある面では、一番重要なのが旅程です。では今から、レムナントはどのように勝利したのでしょうか。

▲本論

1. 終わりを知って進むレムナント

▲1つ目です。レムナント7人は終わりを知って行きました。終わりを知って進むレムナントです。必ず覚える必要があります。とうてい話になりません。

1) 創 37:1-11

▲ヨセフです。日と月と星がお辞儀をする世界福音化の確実な終わりを握りました。だれがなんと言っても、世界福音化は神様の計画です。日本で世界福音化するレムナントを神様は用いられるでしょう。どんなことがあっても、日本で世界福音化する宣教師を神様は用いられるでしょう。終わりを知っていました。

2) 出 2:1-10

▲モーセです。すでに王宮に入るときに知って行きました。なぜ、よりによって日本で皆さんをレムナントととして呼ばれたのでしょうか。立派な人がたくさんいるのに、なぜレムナントととして呼ばれたのでしょうか。これを知っている人です。レムナントはこれを、しっかりと握る必要があります。他のことばには、いっさい、だまされてはなりません。みな、だますことです。正しいことばもだますことです。だれがでしょうか。サタンがだますのです。それゆえ、間違いありません。世界福音化は神様の計画です。日本が世界福音化するのには神様が最も願われることです。レムナントを呼んで世界福音化するのには神様の絶対計画です。

3) I サム 3:1-19

▲これを見てください。イスラエルの滅亡と、サムエルに神様が重要な終わりに起こる使命を与えられたのです。「この日以来、主はサムエルのことばを一つも地に落とすことはなかった」

4) I サム 16:1-13

▲ダビデにです。王になることを話しました。契約の箱を話したのです。神殿を話しました。これから、あなたは何をしなければならないのか、終わりを教えたのです。

▲それゆえ、皆さんの終わりは簡単に出ています。日本福音化と世界福音化です。日本に光を照らさなければ、これから大変なことになります。それゆえ、日本福音化です。日本はとても良い国なのに、偶像崇拜と霊的問題は深刻なので、このわざわいを止めようと皆さんを呼ばれたのです。これを知っていなければなりません。初代教会は大きい困難が来ましたが、全く揺れなかったでしょう。なぜでしょうか。イスラエルの国が受けるわざわい、知っていたのです。ローマに臨むわざわい、知っていました。それゆえ、あなたたちを遣わすと言われました。すると揺れる理由がありません。ユダヤ人は分からなかったのです。日本のレムナントを呼ばれた理由は、1人2人でも呼んで日本のわざわいを止めて、日本が世界福音化するところに用いられるという約束です。この約束だけ今日握れば、無条件に勝利します。分かるでしょう。無条件に握りなさい。日本の領土に臨む、すべての暗闇を打ち倒す主役として呼ばれました。信じなければなりません。私を呼ばれたのは、私たちの家系にある暗闇を完全に終わらせて、世界福音化することです。

▲私が昔に私たちの友だちを呼んで世界福音化を話すと、私を見てちょっと変だと思ったようです。これをするというと、神様の計画だと、私を静かに見つめていました。突然、話をするからです。私たちの韓国と日本は皆さんがいる以上、すべてのわざわいを止めるでしょう。一般の人々は分かりません。わざわいが何かも知りません。全世界が精神病で苦しめられるのに知らないのです。あちこちに戦争がいつ起こるかも分かりません。義人 10 人だけいてもソドム、ゴモラを滅ぼさないと言われました。日本の領土に光を放つレムナントが 10 人だけいても、神様は絶対に滅ぼされないでしょう。この話をする、兄たちが「オイ、お前は狂ったのか」エジプト王にモーセが話したでしょう。私の民を連れて出て行って血のささげ物を献げるようにさせてください、「お前は狂ったな」皆さんが、私が日本の領土にわざわいを止めると言うなら、未信者が見て、狂ったと言うでしょう。それゆえ、この世はしきりに混乱の中で陥ります。今年だけで精神病で診断を受ける子どもが 23%に上がりました。そうでしょう。子どもたちが狂ったのです。大変なことになりました。わざわいです。世界にどんなことが起こるか分かりません。止めなければなりません。そのためにレムナントを呼ばれたのです。それを知っていたということです。

5) II 列 2:9-11

▲聖書をよく見てください。エリシャです。これを知っていました。私に土地も、家も、必要ありません、滅びる預言者には土地が必要です、家が必要です、エリシャはそれは必要ありません、先生の霊の二倍の分を私に与えてください、わざわいを止めました。これを王が分かるでしょうか。だれが分かるでしょうか。このような集いは、歴史的にいつもあったのですが、ものすごい時刻表です。親はレムナントに対してむやみに話してはいけません。この子たちは、すでに契約の中に入って来ています。このエリシャ 1 人が、このヨセフ 1 人が、世界を変えとは、だれも思うことはできませんでした。しかし、神様の計画は変わりません。

6) ダニ 1:9-10

▲この終わりを教えたみことばを、ダニエルが知って心を定めたのです。それゆえ、この終わりを知っている人です。

7) 使 1:8

▲イエス様が言われました。地の果てまで証人となります、だれも信じませんでした。ところで、この福音は地の果てまで証しされました。「すべての民族に福音が証しされて、それから終わりが来ます」

2. レムナントの道

▲二つ目です。だまされてはなりません。このレムナントは道を知っていました。この道を分かれば良いのです。7つの道でしょう。どんな道でしょうか。

1) 三位一体の神様

▲今でも三位一体の神様はみことばで働いておられます。今もキリストの御名で救いの働きが起こっています。今も聖霊の力で祈りに答えられています。この道に従って行くのです。

2) 10 土台

▲どんな場合も揺れません。10の土台、レムナントはこの道に進んで行くのです。

3) 10 奥義

▲必ず勝利します。10の奥義、これが道です。これを祈りで味わいなさい。

4) 確信

▲5つの確信...

5) 流れ

▲どんな世の中も変えることができます。9つの流れ...

6) 一生

▲今、皆さんが祈って、レムナント7人のように一生の答えを見つけ出すのです。これが道です。

7) キャンプ

▲それゆえ、今からレムナントと皆さんが行く道は、御座のキャンプです。必ずそうです。この道に進んで行きます。

3. レムナントの内容

▲三つ目です。世界を生かしたレムナントは内容を知っています。では、終わりだけを知っていたのではありません。道も知って、内容も知っています。これを持ってレムナントは、祈りの旅行をするのです。祈りの旅程に行くのです。私は7つのやぐらを持って祈って、これを祈るときは、皆さんのことを思い出す次第、続けて祈ります。

1) 読書 - みことば

▲では、私たちのレムナントと牧師と副教役者に話したのですが、はやく集まって、必ず読まなければならない本を選定しなさい。特に日本に対する歴史も勉強しなければならないのですが、全世界、最も重要な、必ず読まなければならない本が何かを選定をして読書をしなさい。そして、神様のみことばで答えを出すのです。レムナントがいつ変化が起こるかという、このレムナントが多く的事件をみことばで答えを出す時です。

2) 偉人 - キリスト

▲全世界には戦争を起こして、全世界にはおかしい思想を作り出した偉人がたくさんいます。はやく分析しなければなりません。教会でしてください。金土日時代を開いてください。それゆえ、キリストという単語が分からなければ大変なことになります。ひょっとして他の宗教で聞くと、誤解するかもしれませんが、他の宗教が間違っているという話ではありません。キリストという単語を分からなければ、解決できません。どんどん発展すると、なぜこのように霊的問題が多くなるのでしょうか。キリストという単語を知らないからです。祈らなければなりません。偉人が何をした人々でしょうか。人をたくさん殺した人々です。それが何で偉人でしょうか。皆さんが契約を握るとき、自然に暗闇の勢力は崩れるようになっています。

3) 祭り - 三つの祭り

▲すべての国には祭りがあります。日本にもあります。私たちは、みことばで与えられた三つの祭りの意味を知るべきです。これが皆さんが持つ内容です。

4) 礼拝 - 祈り

▲レムナントは外に出て行く前に、礼拝が何か、祈りが何かを知って出て行かなければなりません。それゆえ、金土日時代を開くのです。

5) ただ - タラント

▲ある日、レムナントに、ただが発見されるでしょう。これを指してタラントと言います。このときから、ものすごい答えが始まります。

6) 唯一性 - 専門性

▲すると、他の人と競争になりません。唯一性の答えが出て来ます。これを指して専門性と言います。教会で教えてあげなければなりません。

7) 再創造 - 世界化

▲ある日、再創造の力を見るようになります。これを指して世界化と言うのです。これがレムナントです。レムナントの旅程、明日全体を終わらせますが、レムナントが持っているやぐらは、必ず世界福音化をするようになります。

* 結論

▲どんな結論が出て来るでしょうか。

1) 残りの者、残る者、残れる者、残す者

▲レムナントは神様が残りの者として呼ばれました。もう一度、私たちの教会や、親、先生は、レムナントを判断してはいけません。レムナントは残りの者で、残る者で、残れる者で、残す者で、これがレムナントです。今、このような運動が、学生たちの集いはたくさんあります。今、続けて福音運動するために日本、アメリカ、レムナントが起きることはありません。気づくべきです。歴史的に大きな変化があるたびに起こりました。

2) 巡礼者(受容/超越)

▲私たちのレムナントは巡礼者として行きます。それゆえ、旅程を進むのでしょう。巡礼者はすべてを受容します。そうでしょう。すべてを超越します。これが祈りです。

3) 征服者

▲いよいよ私たちのレムナントは、暗闇の勢力に勝つ征服者として行きます。

▲霊的サミット - 今もうすでに私たちの日本レムナントは、組織が自ら備えた、こうしたことがたくさん見えます。今、カナダに、アメリカに、ヨーロッパに、レムナントがどんどん起きています。皆さんは、子どもたちではありません。明日、結論を出しますが、皆さんは霊的サミットです。サミットを生かす霊的サミットです。このような祝福を受けました。これを分かった親は答えを受け、分からなかった親はみな逃したのです。「いや、私たちのレムナントが育って、何の日本を生かすことができるのか」こう思った人々は、すべてみな答えを受けられませんでした。これを持って、いまは神様が与えられた7大旅程を進んで行くのです。

▲明日、結論を出して、私たちのレムナントが完全に、もう答えを味わう、最高の始まりをすべきです。日本レムナントを用いられる私たちの三位一体の神様に栄光の拍手をささげましょう。神様に栄光をささげます。祈ります。

(祈り)

神様、感謝いたします。いまは私たちの日本レムナントが準備されています。日本の暗闇が縛られますように。日本のゆえに全世界の暗闇が縛られますように。光が放たれて、すべての暗闇が退きますように。私たちの地球を揺るがす、すべての暗闇の勢力が縛られますように。今日、この時間にすべてののろいとわざわいとすべての日本を揺さぶるすべてのサタンの権威が、主イエスの御名の前に縛られますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(The end)

3 講:Absolute Bartizan (使 1:1-8)

使徒の働き 1:1-8

- [1] テオフィロ様。私は前の書で、イエスが行い始め、また教え始められたすべてのことについて書き記しました。
- [2] それは、お選びになった使徒たちに聖霊によって命じた後、天に上げられた日までのことでした。
- [3] イエスは苦しみを受けた後、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。四十日にわたって彼らに現れ、神の国のことを語られた。
- [4] 使徒たちと一緒にいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。
- [5] ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです。」
- [6] そこで使徒たちは、一緒に集まったとき、イエスに尋ねた。「主よ。イスラエルのために国を再興してくださるのは、この時なのですか。」
- [7] イエスは彼らに言われた。「いつとか、どんな時とかいうことは、あなたがたの知るところではありません。それは、父がご自分の権威をもって定めておられることです。
- [8] しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。」

24.3.29 日本RT大会-3

Absolute Bartizan (Act 1:1-8)

Int Morning Prayer (in Me)

Breath Prayer	(Act 1:3)
(Brain)(Soul)(Body)	40 Days

- | | | |
|--------------|-----------------|----------------|
| 1. 7Bartizan | 2. 7Journey | 2. 7Guide |
| 1) Trinity | 1) Way of God | Post |
| 2) Throne | 2) 10 Secret | 1) John 19:30 |
| 3) 5 Powers | 3) 10 Foot | 2) Act 1:3 |
| 4) Eph 2:2 | -spring | 3) Act 2:1-47 |
| 5) 3 Ages | 4) 5 Conviction | 4) Act 11:19 |
| 6) CVDIP | 5) 9 Stream | 5) Act 13:1-4 |
| 7) 3 Court | 6) Lifetime | 6) Act 16:6-10 |
| -yards | 7) Camp | 7) Act 19:21 |

Main - Day Prayer

1. Enjoy
24
All - Prayer

2. Wait
25

- | | |
|---------------|----------------|
| 1) Mt6:10 | 1) Gen41:38 |
| 2) Mt10:7 | 2) Ex5:1-12:46 |
| 3) Mt12:28-30 | 3) 1Sam17:1-47 |
| 4) Act1:3 | 4) Dan6:10 |
| 5) Act19:9-10 | 5) Act27:24 |
| 1) Gen39:6 | |
| 2) Ex3:1-20 | |
| 3) 1Sam3:19 | |
| 4) Ps78:70-72 | |
| 5) 2Kng2:9-11 | |
| 6) Dan6:20 | |
| 7) Eph6:18 | |

Con

Deep Prayer
Breath
Life Time

1. Eternal Enterprise
2. Master -piece
3. Property

序論:2024 日本レムナント大会 3 講:Absolute Bartizan(使 1:1-8)

- ▲私が1講と2講のとき、少し大変でした。なぜなら、皆さんの顔が見えなかったもので、たった今、私が来て、顔が見えるようにしてほしいとそうをお願いしました。皆さんの顔が見えて良いです。
- ▲この3講のメッセージは、皆さんが心に記録して行かなければなりません。今から皆さんは絶対やぐら (Absolute Bartizan) を作るのです。イエス様がそのような話をされました。オリーブ山(使 1:1-8) で与えられたのです。単なるやぐらではなく、絶対やぐらを建てたのです。絶対やぐらということは、神様が与えてくださるやぐらです。これさえ持っていれば、すべては解決されます。皆さんがやっと生活はできるかも

しませんが、これ(絶対やぐら)がなければ、世界福音化はできません。勉強ができて就職もして、可能です。しかし、これが(絶対やぐら)なければ、日本を生かすことはできません。ところで、サムエルは幼いときに作りました。ダビデも幼いときに、これを(絶対やぐら)作りました。

▲Introduction - Morning prayer (in me)

では、今からどのように作るのでしょうか。皆さんはこれから朝の祈りを始めてください。朝の祈りを今から始めるのです。朝、私の中にこのやぐらを建てるのです。私の中に建てる必要があります。祈りを持って建てるのです。

▲Breath prayer - Brain/Soul/Body

単にするのではなく、呼吸して祈ってください。必ずこのようにしてください。この呼吸をしてこそ、脳が生かされます。これが生かされるのです。すると、皆さんは他の人より数十倍に勉強ができるようになります。これを祈るとき、私のたましいが生かされます。では、このように祈れば、からだも生かされます。必ずこのようにしてください。重職者の方もこのようにすべきです。この祈りを、朝に祈りを目が覚めたら始めるのです。レムナントは5分以上、毎日、これがやぐらとなります。そして、世界教会がすべてしているのですが、これをしないのです。

1) 7 Bartizan

▲呼吸して、私は7つのやぐらを呼吸で祈ります。吸う息のとき、健康も生じますが、ものすごく頭も良くなって、からだも生かされます。がんになった経験がある人は、必ずすべきです。もう皆さんが年を取れば、がんになる可能性が多いのです。そうでしょう。このようにすべきです。必ず科学的に証明されました。特に、私はちょっとうつ病がある、必ずすべきです。続けて呼吸です。単にゆっくり、祈りになるように呼吸すれば良いのです。

(1) Trinity - 祈りながら、三位一体の神様の霊が私に臨むように祈ります。毎日すればどうなるでしょうか。目に見えないものすごいパワーが生まれます。これをすべきです。人々がこれをしないのです。残念でしょう。それゆえ、うつ病になった人々、がんになった人々は、呼吸が短いのです。長くしてください。私の横隔膜が動くほどすれば良いのです。すると、皆さんが一生に一度もしない腸の運動をするようになります。それを一度もしない人と、いつもする人と、差が大きく出ます。特に、レムナントはとても頭が良くなります。必ずすべきです。したくなければ5分でもしてください。

(2) Throne - それで終わるわけではありません。御座の力が私に臨むように祈れば良いのです。

(3) 5Power - このときから、とても大きな力が生まれます。5つの力が生まれます。では、知力が生まれてこそ、勉強ができるようになります。体力ができてこそ、活動することができます。その上に、霊的力があってこそ、日本を生かすことができます。そのときから、光の経済が回復してこそ、正しく宣教することができます。1千万弟子が起こされる人材力が回復してこそ、日本福音化が可能です。この祈りを回復しなければなりません。毎日、私の場合は24です。

(4) Eph2:2、すると完全に暗闇の権威に勝つ力が生まれます。エペソ 2:2 でしょう。空中の権威を持つ支配者に勝つことができます。このやぐらを呼吸して続けて祈るのです。全体をしても、10分もかかりません。

(5) 3Ages - その次に何でしょうか。いよいよ私の過去/現在/未来に力が生まれます。3時代です。

(6) CVDIP - では、このときから CVDIP が見えます。それゆえ、これを続けて祈るのです。そして、続け

て発展して行きます。牧師は他のことは祈らないでください。イエス様がこれだけしなさいと言われたでしょう。「祈り、どのようにしましょうか」これをくれ、あれをくれ、言わないように。イエス様がそう言われたのではないのでしょうか。まず神の国と神の義を求めなさい。そして、イエス様が最後の講壇でも、神の国のことを40日説明されました。40日、どれくらい重要だったのでしょうか。このように語られたのです。不思議なことに、これだけしないのです。さまざまなことすべてして。何の霊を受けたのか、全世界の牧師がいろいろなことをすべてして、これだけはしないのです。当然、教会がうまくいかないのです。これをすれば、当然できます。

(7) 3 Courtyards - 最後の7つ目は何でしょうか。三つの庭が見えるのです。これが見えます。では、そして多くの多民族が見えます。レムナントが見えます。癒やす祈りの庭が見えます。これが私の中に入ってくるべきです。

2) 7 Journey

▲二つ目です。祈りによって進むのです。7旅程に行けば良いのです。祈りによって、すると続けて発展します。

(1) Way of GOD - 三位一体の神様が私を導いてくださる、その道で旅程を生きて行くのです。みことば成就に従って行きます。祈りの答えに従って行きます。証人の道に行くのです。これが私に入ってくるべきではありません。今、私が話すのは、説教ではなくて、証しするのです。しなければなりません。これは私の話ではなくて、イエス様が言われた話です。いや、朝に窓を開いても、良い空気の中で呼吸して、この祈りをすれば、からだも生きて、霊も生きて、答えが来るのに、なぜこれをしていないのか私は理解できません。もちろん、24はしなくても、朝に起きて、毎日、どうなるのでしょうか。反対に、朝に起きて毎日悩む、どうなるのでしょうか。朝に起きて毎日心配する、どうなるのでしょうか。朝に起きて毎日慌てる、どうなるのでしょうか。それは滅びることです。レムナントはしてください。

(2) 10 Secret - そして何でしょうか。ものすごい10の奥義を持って行くのです。10の奥義は何でしょうか、探してみれば出て来ます。

(3) 10 Foot spring - その中で、要約してしまえば必ず勝利の道があります。10の土台、英語ではFoot springと言います。それを土台として走るからです。確実な背景です。

(4) 5 Confidence - どんな場合も、神様は皆さんを離れません。5つの確信...

(5) 9 Steam - そして、静かに祈りで環境を変えることができます。祈りで皆さんの家を変えることができます。祈りで会社を変えることができます。9つのSteamです。これが私の中に臨むように続けて祈るのです。

(6) Lifetime - いよいよ、この人に会えば、一生の答えをあげることができます。また、私がどこかへ行って、一生の答えを見るようになります。私は日本に来てすでに「あ、私がしなければならない一生の答えが何か」確信が来ました。また、発見できなければ、発見できる時まで祈れば良いのです。

(7) Camp - なんでしょうか。私たちの行くすべての道は御座のキャンプです。光を放つのです。この祈りを継続するのです。ですから、レムナントは少しの間でもしてくださいということです。

3) 7 Guidepost

▲いよいよ、所々に絶対やぐらを建てる、このガイドポストである道しるべが出て来ます。

(1) John 19:30、1つ目。カルバリの丘で、すべてを完了された、その契約が私の道しるべとなります。カルバリの丘で、私のすべてののろい、わざわいをみな終わらせた、その契約を握ります。

- (2) Act1:3、オリーブ山で私に与えられたミッションを握ります。
- (3) Act2:1-47、マルコの屋上の部屋に現れた、その力、私に臨むように祈ります。それで良いでしょう。
- (4) Act11:19、アンティオキアに現れた驚くべき宣教の門を開ける、その道しるべが私に...
- (5) Act13:1-4、伝道は難しくありません。アジアで始まった、その聖霊の導き、私にあるようにしてくださいと...
- (6) Act16:6-10、マケドニアに行く道しるべが私に臨むように...
- (7) Act19:21、ローマに行く世界福音化の道しるべが私に臨むように、終わりです。この祈りだけ継続するのです。朝に、してみてください。答えも受けることを考えずにしてみてください。

▲Main : Day prayer

このときから、いまは皆さんが昼にする祈りが出て来ます。これが重要です。では、昼にする祈りは三つです。

1. Enjoy 24 - 「All prayer」

▲24 を味わうのです。では、昼にする祈りは、すべてを祈りに変えなさい。分かるでしょう。昼に、すべてを祈りに変えるのです。必要ならば、私の場合は、この呼吸祈りを続けて。今回の核心は、東京ですることになるのですが、良いです。日本に来たから、日本語に次に通訳して、世界福音化すべきだと、英語でその次に通訳するつもりです。すると、私が待つ時間が多いでしょう。良いです。そのとき、この祈りをします。私は通訳がつく説教がはるかに楽です。話しておいて、通訳するとき、また祈って、完全に説教を味わうようになります。今、私が話すことを理解する必要があります。皆さん、聞き取れなければ祈りができなくて、うまくいきません。これをすれば、日が経つにつれ、答えが来ます。問題が来れば、もっと大きい答えで来ます。危機が来れば、本当の答えが来ます。初代教会は、危機のときに、本当の答えをみな受けました。続けてこれを味わうのです。私の中に特別な絶対やぐらが建つようになります。それとともにすべて祈りに変えるようになります。

1) Gen39:6

▲このようになります。主が彼のすることすべてを彼に成功させてくださるのを見た、そうです。

2) Ex3:1-10

▲モーセがホレブ山で羊を飼う中で、神様の御声を聞くようになりました。その話は、現場で祈りをいつも味わっていたのです。皆さん、難しいことがとても多いでしょう。祈りに変えてください。本当におかしな人が多いでしょう。祈りに変えてください。福音は伝えないで、毎日、人の話だけする人々が多いのです。祈ってください。少しの間すれば良いのです。私がこの人間、こうすれば悪口でしょう。そうでしょう。もし「このオンナ!」と言ったら、悪口になるでしょう。そうでしょう。ところで「神様、このオンナはなぜこのようですか」祈りです。そうでしょう。これが小さいようでも、ものすごいことが起こります。答えが続けて来るのです。

3) 1Sam3:19

▲すべてのサムエルの言葉は答えられました。これを味わいなさい。24、単に普段の祈りで、勉強しながら、メッセージを聞きながら祈ってください。「いつ終わるか」ではなくて、祈りながらメッセージを聞けば良いのです。聖日に教会に行って牧師、宣教師の説教を聞くと、祈りながら聞いてください。どう

なるでしょうか。してみてくださいということです。重要なことだけみなせずに、重要でないことだけ継続しています。当然、世の中では生活が苦しいでしょう。

4) Psal 78:70-72

▲普段の時です。詩 78:70-72、ダビデが羊飼いであって、続けて祈ったのです。そうでしょう。羊飼いで単に待てば、どれくらい大変でしょうか。祈って、このように味わって祈りなさい。後には、羊を一番よく守った人になりました。このとき、神様はダビデを王に指名しました。なぜなら、これをした人がいなかったからです。

5) 2King2:9-11

▲聖書をよく見てください。Ⅱ列 2:9-11、他の神学生たちは全部ギルガル、ベテル、エリコ、エリシャだけ祈りの中でエリヤについて行ったのです。そうでしょう。だれを神様が選ばれましたか。ギルガル、あれを自分のものにすべきで、エリコを自分のものにすべきで、ベテルを自分のものにすべきで、神様がそれを用いられることはできません。「私にあなたの霊の2倍の分をください!」こうすれば良いのです。

6) Dan6:20

▲ダニ 6:20、王がダニエルを見て話しました。ダニエル、あなたがいつも仕えているその神様が、あなたを救い出されるだろう。このことばは、ダニエルは仕事をしながらも、いつも祈りの中にいたということです。物事がうまくいくしかありません。

7) Eph6:18

▲パウロはこのように話しました。いつも祈りなさい、無条件に聖霊によってどんなときにも祈りなさい、すると、サタンに勝つことができる、これを今日このまま持って行ってください。

▲二つ目です。これをして、平日に②待ちなさい。祈りの中でこれをしながら待ちなさいということです。父の約束されたことを待ちなさい、これを指して、何を待つのでしょうか。25 を待つのです。私の時刻表ではなく、神様の時刻表、分かるでしょう。これです。その次に、三つ目です。韓国語で書いて申し訳ないのですが、待っていて③挑戦しなさい。どこにでしょうか。見えます。永遠のことに挑戦しなさい。なくならないことに挑戦しなさい。これをしていれば出て来ます。私たちは今、5 千種族に挑戦を始めました。

2. Wait - 「25」

▲どのように待つのでしょうか。

1) Mat6:10

▲イエス様が言われました。「御国が来ますようにと祈りなさい」それで良いでしょう。待つということです。

2) Mat10:7

▲「神の国、天国が近づいたと言いなさい」

3) Mat12:28-30

▲聖霊が臨んでサタンが縛られれば、神の国が臨んだのだ、イエス様が言われたでしょう。

4) Act1:3

▲40 日間、「神の国のことを説明して待ちなさい」

5) Act19:8-10

▲これを一番上手にした人がパウロです。大胆に神の国のことについて説明して待ったのです。奇跡が起

こったのでしょうか。ティラノに。分かるでしょう。この重要なことをみなせずに、重要でないことにそんなに熱心にして生きる必要はありません。

3. Challenge- 「Eternal」

▲いまは、挑戦するのです。まことのことに挑戦します。どのように挑戦したでしょうか。

1) Gen41:38

▲創 41:38、ヨセフです。王の前に立ったのです。ものすごい挑戦でしょう。そうでしょう。これをするのです。

2) Ex5:1-12:46

▲なんでしょう。パロ王の前に立って、モーセが 10 の奇跡を持って挑戦したのです。このような時刻表が来ます。よく待っていれば良いのです。

3) 1Sam17:1-47

▲ゴリヤテに会うようになります。ダビデは、ゴリヤテに挑戦します。知っているでしょう。来ます。他の人が避けて逃げて、恐れをなすことに、ダビデが挑戦したのです。お前は剣と槍と投げ槍で私に向かって来るが、私はお前がなぶる主の御名によってお前に立ち向かう、命が剣にあるのではなく主の御手にあることを証明する、今日、主がお前の首を私の手に渡される、話が終わるやいなや投げたのですが、当たりました。いや、獅子の頭の急所もダビデが当てるのですから、ゴリヤテ程度は何でもありません。空いている所に投げたのです。挑戦しなさい。絶対のことに挑戦しなさい。

4) Dan6:10

▲ダニエルです。死ぬと知っていても挑戦しました。

5) Act27:24

▲カエサルの前に立ちます、パウロの挑戦です。暴風の中で神様が主の使いを送られました。パウロ、恐れはならない、あなたはカエサルの前に立ちます、すでに挑戦中です。それで良いでしょう。これが昼にする祈りで、これが朝にする祈りです。

* Conclusion : Deep/Prayer/Breath - Life time

▲すると、結論が出て来ます。どんな結論が出て来るのでしょうか。皆さんがおもに、夜です。夜には、深い祈りと深い呼吸をして、このようにすれば良いのです。それとともに、一生の祈りの課題に入るのです。一生、英語でライフタイムです。一生の祈りの課題です。入るのです。何に入るのでしょうか。

1) Eternal enterprise

▲今から永遠の嗣業を作るのです。永遠の嗣業...

2) Masterpiece

▲すると出て来るようになっていきます。今から入るのです。永遠の作品、それで良いでしょう。

3) Eternal property

▲永遠の遺産、これで入るのです。

▲この祈りを継続していれば、答えが来ます。そちらへ行けば良いのです。この祈りを継続していれば、みことば成就となります。そちらへ行けば良いのです。この祈りを継続していれば、伝道の門が開きます。直ちに行けば良いのです。レムナントの前にもものすごいことが残っています。今、答えがなくてもかまいません。

ん。レムナントを時代ごとに神様が準備されました。特に日本、重要です。日本にとっても重要な、良い宣教師がたくさん来ていることを感謝いたします。現在、私たち韓国に来て、韓国語を習って、完ぺきに宣教する人々が、日本人にたくさんいます。揺れることもありません。私が個人的に良くして、助けたり、一度もありません。ここに、私たちの通訳する張宣教師から始めてアキコ、このような人、みな一度も揺れることはありません。私は、日本に、ものすごい神様が与えられる確信を持って見えています。世界宣教できる条件を備えた国です。日本と韓国、それで、韓国の人々がちょっと失敗しても見逃してください。韓国の人々は、世界福音化する条件を持っています。日本の性分が世界福音化できる条件をたくさん持っています。私は全世界に通う中で、一番気楽なところが日本です。話をしなくてもあります。ですから、神様が韓国と日本を近くにあるようにして、世界福音化するように準備されたのです。

▲私たちの日本とレムナントを用いられる三位一体の神様に栄光の拍手をささげましょう。感謝いたします。祈ります。

(祈り)

感謝を神様にささげます。日本レムナント大会を開いてくださった神様に感謝いたします。日本を通して世界福音化が起こると確信します。私たちの宣教師と重職者の方とレムナントを用いてください。主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(The end)